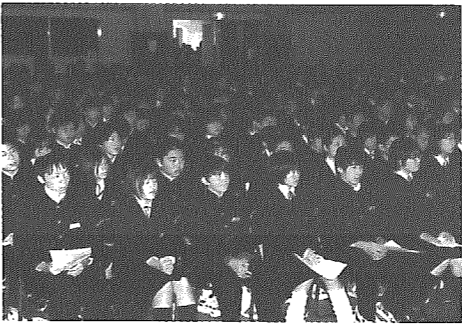


「3つの気」を学ぶ

横越中学校 3年 遠藤 妙子

私は、記念事業式典に参加して、スライドを見ていて、私たちが生まれる前の横越の歴史を知り、戦時中の学校の様子が歴史の教科書に載っている写真のようで、驚きました。私たちの住む平和で豊かな横越にも、こんな時があったことを知ることができ、とてもよかったです。そして、山口良治先生の講演会は、今後の目標について、とても参考になりました。特に、山口良治先生が野球選手になったかったというお話を聞き、ラグビーとの出会いは偶然だったこともすごいなあと思いました。教師になって伏見工業高校でラグビー部の顧問をやり始めて、花園高校との試合で112



対0で負けてしまったことが、伏見工業高校ラグビー部にとって、とてもいいきっかけだったんだなあと思いました。その後、全国大会で優勝されたというこ

勇気がわく

横越中学校 3年 市村 整

僕は、この式典に参加できて、とても良かったです。横越町は、今から百年前に、

合村百周年・町制施行五周年記念事業に参加して 中学生の感想文 心に残った講演と演奏

夢と希望を与えられる

横越中学校 3年 青木 貴子

合村百周年、町制施行五周年記念事業という節目の式典に参加できたことを、大変うれしく思いました。

まず、オープニングの演奏はとてすばらしく、合村百年の歩みのスライド上映では、私たちの知らない昔の人の苦勞や、阿賀野川や横雲橋の歴史などが分りやすく説明されていて、とても良かったです。

次に、「のぎくの家」の親や関係者によるのぎく讃歌は、それぞれの歌詞に意味があり、す

とですが、今度の全国大会でも優勝してもらいたいです。

そして、いつかまた横越に来てもらいたいです。今後、山口良治先生から学んだ、元氣、やる氣、勇氣という3つの氣を大切に、受験やその他の自分の生活の目標としてがんばっていきたくです。

横越、小杉、二本木、木津、沢海の5つの村が合併して「横越村」となり、以後、飛躍的に発

展し、遂には人口1万人を突破。そして、今から5年前に、「村」から「町」になりました。その記念として、今回の式典が行われました。

式典は、コンサート、町長さんのあいさつ、スライド上映、のぎく讃歌の合唱、山口良治先生の記念講演の順で行われましたが、最も印象に残ったのは、山口先生の講演でした。

山口良治先生はラグビーの元日本代表で、荒れた学校をたて直し、NHKの「プロジェクト

X」などのテレビ番組に出演するほどだから、「きつとすごい先生だろうな」と思いました。講演の内容は、先生が青年の時の話や伏見工業高校の話、ラグビーの話などを、動作つきで語って下さいました。先生の講演はとても説得力があり、勇氣がわいてくるような力強い講演で、とても感動しました。本当にありがとうございます。

さて、5か村合併して百年が経ちましたが、これからも、新潟市や亀田町などの近隣市町村と共に、横越町は発展し続けていくと思います。僕も一人の町民として、山口先生の言葉を胸に刻み、これから先一生懸命頑張っていきたいです。そして、横越町の更なる発展に貢献したいと思います。

僕は、以前ビデオを見て、先生のことを知っており、すごい先生だと思っていました。直接先生からお話を聞けるといいうことで、11月1日の講演を楽しみにしていました。

講演では、先生は学生時代に野球やラグビーに熱中していたことや、その時の先生たちとの出会いなど、自分の学生時代の

いろいろなことに挑戦

横越中学校 3年 坂内 正治

ことを話してくれました。先生は、伏見工業高校での教師生活で、生徒たちに真剣に正面からぶつかっていったから、生徒たちは先生を信じてついていったんだろうと思います。

講演を聞いて、いろいろなことに挑戦し、何事にも一生懸命がんばって取り組んでいきたいと思えます。

秋の叙勲 勲六等瑞宝章 田中ムツさん 受章



田中ムツさん（中央4丁目78歳）が、勲六等瑞宝章を受章しました。田中さんは、昭和43年から現在に至るまで約33年間、阿賀野川横越水位観測所の観測員として活動されてきました。観測員の仕事は、横雲橋近くにある観測所に朝夕の1日2回通い、機器による水位のデータと実際の水位を確認したり、天気などを記録することなどです。田中さんは、台風や雪などの天候の悪いときも、道路や堤防が凍っていても休まず、毎日コツコツと観測を続けてきました。

勤労者福祉に長年尽力 県知事表彰 仲村 哲夫さん



仲村哲夫さん（二本木4丁目70歳）が、勤労の部で県知事表彰を受賞しました。

仲村さんは、新潟県総合生活協同組合理事長、全国労働者共済生活協同組合副理事長などを歴任し、また、県労働者福祉協議会を昭和63年に結成して初代会長を務めるなど、長年、労働組合運動・労働福祉運動に携わり、労働者の福祉や社会的地位

（田中さんの受賞の言葉）

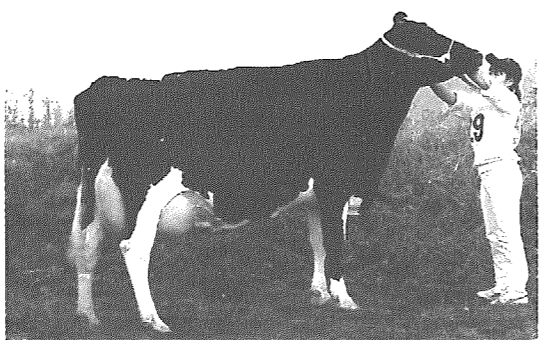
都合が悪いときは代わりに観測してもらったり、周囲の人たちに除雪などをしてもらいながら、みんなに助けてもらいながら活動を続けることができました。受賞はまるで夢のようです。元氣が続く限り、ケガをしないよう氣を付けながら今後も続けていきたいと思います。

農林水産の振興に尽力 県知事表彰 杉本 治一郎さん



杉本治一郎さん（阿賀野2丁目62歳）が、農林水産の部で県知事表彰を受賞しました。杉本さんは、新潟県畜産人工

市野瀬さんの乳牛 品評会で県内一位に



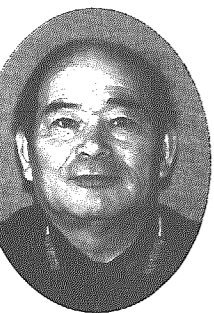
10月24日、新潟県酪農青年部と新潟県酪農協同組合連合会が主催し、新潟県が後援した

10年2月生まれ、メス。市野瀬さんは、「一位になって、飛び上がるほどうれしい」と感想を述べていました。

ふだん牛を飼っている上で注意していることはと尋ねられると、「牛たちにストレスがたまらないように、牛舎の風通しを良くしたり、牛舎や牛の体を常にきれいにするなど、牛にとって良い環境づくりを心がけています」と答えていました。

もに頂いた表彰だと思っております。今、牛の病氣の影響によって、牛肉・乳製品への不信が広がっていますが、消費者の皆さんが安心して購入できる体制づくりには、今後も取り組んでいきたいと思えます。

農林水産の振興に尽力 県知事表彰 杉本 治一郎さん



杉本治一郎さん（阿賀野2丁目62歳）が、農林水産の部で県知事表彰を受賞しました。杉本さんは、新潟県畜産人工

授精師協会の理事を30年以上、そのうち会長を6年間務めて、県内での牛や豚といった家畜の受精卵移植を推進し、基本的な技術の反復と新しい技術の開発、家畜の健康管理などに力を注いできました。

（杉本さんの受賞の言葉）
多くの方々と協力して、家畜の増殖・酪農の振興に組織的に取り組んできた結果で、皆さんと